愛知県の障害者雇用施策について

|  |  |
| --- | --- |
| 30年度事業 | 31年度事業(案) |
| 〇企業向け障害者雇用相談窓口の開設  ・専門的知識を持つ就労支援アドバイザーによる相談支援、企業訪問による助言等  　【実績】利用企業数 ３０３社うち、訪問企業数 ２０７社　（平成31年1月末現在）  〇職場見学・実習開拓事業  　・職場見学・実習先の開拓及び就労支援機関等へ情報提供  　　【実績】受入企業数 ４７社、実習実施人数 ２２名（平成31年1月末現在）    〇就労支援者養成・派遣事業  ・県が養成した障害者就労支援者を、求職中の障害者や就職先の事業所等に派遣し、就労と職場定着を促進  　 【実績】（平成31年1月末現在）  就労支援者養成研修修了者 ２５人、就労支援者派遣回数 ２６０回 | 〇「あいち障害者雇用総合サポートデスク」の開設　改編・拡充  従来の企業向け相談窓口として、就業促進課内に設置していた「障害者雇用企業サポートデスク」を再編し、障害者雇用拡大に必要な情報を一元的に把握し、愛知労働局、就労支援機関等の関係機関の取組に応じた情報を適時提供するなど、県内の関係機関が一体となった効果的かつ効率的な支援を行うための中心的な役割を担う施設「あいち障害者雇用総合サポートデスク」を創設する。  １　設置場所：愛知県産業労働センター１７階　あいち労働総合支援フロア内  ２　利用対象：企業及び障害者  ３　開設日：平成３１年５月  ４　事業内容  〇障害者雇用に係る相談、助言、情報提供等  　〇職場実習受入企業の情報の集約及び就労支援機関への情報発信等（職場実習500件、就職件数250件）  〇職場定着支援  ①愛知労働局からハローワーク紹介による就職者の情報提供を受け、定期的な調査の実施により職場定着支援ニーズを把握  ②把握した支援ニーズについて、県が養成した就労支援者の派遣による状況確認（857件）  ③職場適応援助（ジョブコーチ）支援（直接支援）（203件）  ④就労支援機関等に支援要請（間接支援）  〇サポートデスクを中心とした県内ハローワーク、就労支援機関等とのネットワークの構築  ＜目標＞ ・デスク利用件数　１,０００件以上 |
| 〇就労支援者養成事業（30人以上）継続実施 |
| 〇障害者雇用企業情報交換会  ・業種別先進企業見学会及び事例検討会  　【実績】参加企業数 ４１社、参加者数 ５０人（５回終了） | 廃　止 |
| 〇精神・発達障害者雇用促進事業  ・企業及び精神・発達障害者向けセミナー、支援機関付き面接会  　【実績】（平成31年1月末現在）  ・雇用促進勉強会参加者： ８２人（３回終了）  ・障害者フォローアップ交流会参加者：９１人（５回終了）  ・面接会参加者： 企業２１社、障害者４４人（１回開催済） | 〇精神障害者就労定着支援事業　改編  ・支援機関付き面接会（2回）各回企業30社、障害者50人  ・精神障害者雇用企業にアンケート調査(1,200件)を実施し、支援を必要とする障害者を発掘し、サポートデスクにつなぐ。 |
| 〇障害者雇用啓発資料の作成・配布　1,500部 | 〇障害者雇用啓発資料の作成・配布　3,000部　拡充 |
| 〇中小企業応援障害者雇用奨励金  ・障害者を初めて雇用する中小企業へ奨励金（600千円/社）を支給  　【実績】支給済 ７件（他、支給見込み７件）（平成31年1月末現在） | 継続実施 |
| 〇障害者就職面接会（学卒・一般）の開催（平成31年1月末現在）  　【実績】学卒（1回）：面接会参加者　企業１２４社、求職者１０５人  就職者数１８人（就職率17.1％）  　　　　　一般（2回）：面接会参加者　企業２０５社、求職者５５６人  就職者数７３人（就職率13.1％）  〇企業等への障害者雇用の要請（８４社）  〇障害者雇用促進トップセミナーの開催（参加者数３４８人）  〇障害者雇用優良事業所の表彰  〇障害者就業・生活支援センターの設置  〇県の機関における知的障害者インターンシップ  〇障害者雇用審議会の開催 | 継続実施 |
| 〇施設内訓練  ・愛知障害者職業能力開発校、名古屋・岡崎高等技術専門校（知的障害者対象訓練コース）  〇委託訓練  〇県障害者技能競技大会の開催  ・2019年度、2020年度「技能五輪全国大会・全国障害者技能競技大会（全国アビリンピック）」開催 |
| 〇障害者多数雇用企業への物品・役務の優先発注  〇公契約条例による取組  ・企画競争や入札参加資格者名簿の登録において障害者法定雇用率の達成事業者の社会的取り組みを評価 |